



# 学校だより

入善町立飯野小学校  
令和4年1月26日

2022年、令和4年の幕開けです。コロナ禍に入って2回目の冬を迎えました。今現在も、日本だけでなく、世界中が新型コロナウイルスに翻弄され、大変な状況が続いています。本当の意味での春が待ち遠しいですね。子供たちも保護者の皆様も、健康に留意され、健やかにこの一年をお過ごしください。教職員一同、学校における安心・安全な環境づくりに努め、子供たちの成長を支えていきたいと思ひます。本年もよろしくお願ひいたします。

## 飯野っ子 イノベーション 1月 ～ 分からなくても考える ～

とても考えさせられたお話を1つ紹介します。さあ！一緒に考えてみませんか。

### 勉強するということ -見えないものを見る力-

今、目に見えていないものを想像してみましょう。山の木々は空気をつくり、花は実を結んで動物を育て、落ち葉は土を豊かにしてくれています。目には見えないけれど、空気の中には小さな水があって、私たちの体を守ってくれています。人間は目に見えないものに守られています。

目に見えないことを考える。このことを、「想像する」といいます。想像することは人間に与えられた最高の能力です。

だから、私たち人間はこの想像する力を使って、今地球で起こっていることをしっかりと見ましょう。私たちが生きているこの地球は、いろいろな心配事を抱えています。自然破壊だけではありません。遠い外国では、たくさんの子供が食べるものがなくて死んでいます。今も小さな子供が虐待を受けながら働いて物を作っています。そしてそこで作られた物で、私たちは気持ちよく暮らしています。

しかし、私たちがひどい人間なのではありません。そんなふうになされたものだとは知らないだけです。子供のうちは、本当に社会の中で起こっていても、見えないことがたくさんあります。皆さんは、何のために勉強するのかといえは、そういうことに気付くためです。

自然のこと、遠い場所のこと、昔のこと、未来のこと、人の心のことなど、目に見えないことを知り、想像してその大切さに気付くために勉強するのです。

そして、気付いたことに対して自分はどうするのかを自分で決めて、自分なりに行動して、よりよい社会を自分がつくっていきけるようになるために勉強するのです。

どうでしょうか？

今日も、これからも、様々な方々と共に勉強していきましょう。



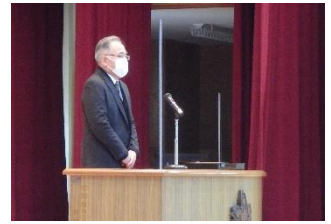
(職員玄関前の凍った雨だれ)

## 3学期のスタート 今年はどうな年にしたいですか？

1月11日(火)

2022年の年初め、思ったよりも暖かな始業式の日となりました。式では校長から、「3つのことをがんばりましょう。①自分から進んで考える ②元気を出して明るく過ごす ③好き嫌いせずに取り組む(苦手なことや嫌いなことでも)」というお話がありました。

その後、学年代表児童の「新年の誓い」では、「書初で金賞をとれるように」「漢字や計算を身に付けたい」「学年が一つ上がるので、上級生らしくしっかりやりたい」「中学校に進学する。一日一日を大切に過ごしたい」等の発表がありました。それぞれが心に掲げた目当ての紹介に、会場全体が引き締まった雰囲気となり、新年の始まりにふさわしい式になりました。飯野っ子一人一人にとって、確かな成長を遂げることのできるすばらしい一年になることを願ってやみません。



## この一画に気持ちをこめて 校内書初大会

1月11日(火)



始業式に引き続き、書初大会を行いました。1、2年は教室で、3～6年は時間をずらして体育館で実施しました。子供たちは2学期末から冬休みにかけて練習してきた成果を発揮しようと、真剣な面持ちで一画一画を丁寧に、気持ちをこめて書き上げていました。どの会場も凛とした静かな空気が漂っていました。

## 待っていました！スキー学習会&雪遊び

1月20日(木)・24日(月)

今年の雪は今のところ、多すぎず、少なすぎず、程よく降ってくれています。1月20日(木)には、5・6年生スキー学習会が立山山麓スキー場で開かれました。雪の予報でしたが、晴れ間もあり、インストラクターの指導の下、それぞれが上達することができたようです。また、学校では、休み時間や体育の時間に雪で遊ぶ子供たちの姿が見られます。



指示をよく聞いて、基本を身に付けるぞ。



そり滑り、楽しくって最高！

1年生は、体育の時間にスキー山でそり滑りを楽しみました。緩やかな傾斜ですが、ある程度のスピードも出て、どの子供も歓声を上げ、笑顔でいっぱいでした。

## ほっとタイム



\*先生方の、ほっとできるようなエピソードや一言を紹介します。

### 「慣れ」

木澤 慎

寒い日が続いています。でも、11月頃に気温がぐっと下がった時も寒かったなあ。

「慣れ」ってすごいよなと思います。そういえば、小学生の頃、テレビのニュースでアラスカから20年ぶりに帰国した人が、真冬に半袖シャツで飛行機から降りてくるのを見ました。

人間の順応力の高さといたらもう。



### 「すてきなお手紙」

目澤 明佳

「ままえまいつもありがとうままだいすきだよ」4歳の娘が、覚えたての平仮名を一生懸命使って書いてくれるお手紙が、私の宝物です。毎日が慌ただしく過ぎていく中で、このお手紙を見るととても幸せな気持ちになります。最近は文字も少し丁寧に became ようです。書きたい!という気持ちが、力を伸ばすんだなあと感じます。クラスの子供たちにも、「書きたいな」「やりたいな」と思えるような言葉かけをしていきたいです。